

社団法人日本学生陸上競技連合が主催

「JAバンクスポーツスペシャル 第41回全日本大学駅伝対校選手権大会」

大会の実施運営で生ずるCO<sub>2</sub>をオフセット、スポーツイベントでは初の認証取得

社団法人日本学生陸上競技連合(東京都渋谷区 会長:保利耕輔 以下、「日本学連」)は、愛知県名古屋市から三重県伊勢市に渡って開催される全日本大学駅伝大会において、実施・運営の活動においてに生ずるCO<sub>2</sub>排出量を算出し、カーボン・オフセット(※下記参照)する取り組みを実施いたします。

※カーボン・オフセット:自ら省エネ等によりCO<sub>2</sub>削減の努力をした上で、削減が困難な部分の排出量を、他の場所での排出量削減にて作られた排出権を購入する事などによりオフセット(相殺)すること。

対象となるのは、「JAバンクスポーツスペシャル 第41回全日本大学駅伝対校選手権大会」で、三菱UFJリースが提供する「オフセットパートナーサービス」を利用して、カーボン・オフセットいたします。なお、この取り組みは、スポーツイベントとしては第1号となる、環境省基準によるカーボン・オフセット認証を取得いたしました。

■全日本大学駅伝大会でのカーボン・オフセットについて

地球温暖化を防ぐことは、現在から将来にわたる社会の大きな課題であり、そのためには一人ひとりが主体的に削減努力を継続していくことが必要です。日本学連は、本年11月に開催される「JAバンクスポーツスペシャル 第41回全日本大学駅伝対校選手権大会」において、大会前の中継所設営からリハーサル、当日、大会終了後の中継所撤去及び廃棄物処理によって生ずるCO<sub>2</sub>排出量を対象にカーボン・オフセットいたします。

取り組みに当たっては、三菱UFJリースが排出権取引に係るカーボン・オフセットサービスとして提供する「オフセットパートナーサービス」を利用し、排出権の取得から管理・償却に至る一連のオフセットを実施します。

本大会が取り扱う排出権は、国連の認証を受けた温室効果ガス削減プロジェクト「インド・カルナタカ州 NSL27.65MW 風力発電プロジェクト」から得られた排出権で、オフセットに使われた排出権は日本政府の償却口座へ移転(譲渡)されます。これにより、日本が求められている温室効果ガス削減目標の達成にも貢献することとなります。

なお、今回のカーボン・オフセットは、スポーツ業界においても先駆けた取り組みという意味で、非常に意義深いことと考えております。

認証番号:4CJ-0900008

関連URL:<http://www.4cj.org/label/anken.html>

問い合わせ先:社団法人日本学生陸上競技連合 [juauj@joy.ocn.ne.jp](mailto:juauj@joy.ocn.ne.jp)